



安倍政権NO！とテラカードを掲げ声を上げる参加者ら。2日夜、東京都千代田区の日比谷公園で

安全保障関連法や原発再稼働などに抗議する集会「安倍政権NO！☆1002大行進」が2日、東京・日比谷野外音楽堂であった。

主催者発表で三千人超が参加。労働者派遣法なども含め十二のテーマで安倍政権の「暴走」を止めようと、毎週末の脱原発デモを主催する首都圏原発発連合や「SEALDs（自由と民主主義のための学生緊急行動、シールズ）」などの団体が合同で企画した。

上智大の中野晃一教授（政治学）は「問題の共通点は国家が暴

尊厳を守る闘いこれから

東京・日比谷 政権への抗議集会

走し、私たちが踏みじろつとしていること。これは人間の尊厳を守る闘いだ」と強調。東京都中野区の医療事務、大野菜々子さん（左）は「安保法成立後、デモが少なくなつて寂しい『デモロス』だった。武器の予算を増やすのではなく、介護や医療の現場にお金を使って」と訴えた。

集会では、菅義偉官房長官の「子どもを産みたいという形で国家に貢献を」との発言に「産むのは、国家のためではありません」という声も上がった。

集会後には新橋や銀座の繁華街をデモ行進した。